


30th
Anniversary
Oku Nagashima Ohashi

邑久長島大橋架橋30周年 上映会&トークイベント

2018年11月23日(金 祝日)

14:00~16:00(13:30開場)

国立ハンセン病資料館 映像ホール

東京都東村山市青葉町4-1-13 電話:042-396-2909

上映:「もうひとつの橋」1983年 山陽放送制作(47分)

ゲストスピーカー:中尾伸治さん(長島愛生園入所者自治会会長)

| 事前申込不要 | 先着順140名 | 参加無料 |

協力:山陽放送株式会社/全国ハンセン病療養所入所者協議会

国立療養所長島愛生園/長島愛生園入所者自治会/長島愛生園歴史館/国立療養所邑久光明園

邑久光明園入所者自治会/邑久光明園社会交流会館/ほか

地方の時代映像祭
グランプリ受賞作品

もうひとつの橋

「もうひとつの橋」上映会と「架橋運動への想い」トークイベント

今年、瀬戸内海に浮かぶ島・長島と本土側を結ぶ「邑久長島大橋」が架橋30周年を迎えます。わずか30m足らずの海峡にもかかわらず、架橋の実現に足かけ17年もの歳月を要したこの橋は、「人間回復の橋」とも呼ばれました。

島内にある邑久光明園、および長島愛生園に隔離された人びとと、対岸に広がる「社会」とを物理的に結ぶと同時に、隔離と開放、差別と交流を象徴するきわめて重要な橋と言えます。

このたび当館所蔵資料から、1983年山陽放送制作のドキュメンタリー番組『もうひとつの橋』の上映と、あわせて作品の舞台となった長島愛生園の入所者によるトークイベントを開催します。

上映作品は、架橋運動のさなかに制作され、地域の人々の営みを記録した優れたドキュメンタリー作品に贈られる「地方の時代映像祭」グランプリを受賞しました。これまで視聴する機会はいわゆる限られてきましたが、今回、山陽放送の協力を得て、同作品の上映が実現します。また、東京で長島愛生園入所者の体験と架橋への想いを聞くことのできる貴重な機会です。

このイベントが、架橋30周年を迎えた邑久長島大橋を「人間回復の橋」として、あらためて強く認識する機会になればと願っています。



撮影・南龍一



撮影・井上光彦